



所在地／阿蘇市狩尾 675
 児童数／49人 創立／明治7年
 学校長／秋吉 美津子 教頭／諏訪 孝英

● School Profile

School of the pride ●●●●

白慢の学校

阿蘇市内の小・中学校を紹介するコーナー

第9回 尾ヶ石東部小学校

地域の方々とともに学校づくり

伝統受け継ぐ子ども虎舞

本校は、「狩尾子ども虎舞」の伝統芸能を、毎年、阿蘇市子ども芸術祭や収穫祭で披露しています。13年前から、4年生以上の児童が「総合的な学習の時間」に狩尾3区の虎舞保存会の皆さんから指導を受けています。3年生以下の児童も運動会では、上級生に混じって「かべぬり」などの



子ども芸術祭で虎舞を披露する児童たち

子どもたちが県立盲学校にも訪問させていただき、より一層交流を深めることができました。子どもたちは、交流をととも楽しんでみられています。そして、子どもたちの心に、いろいろな個性を持った人たちとともに生きる心が育まれています。

舞と一緒に披露します。地域で受け継がれてきた伝統芸能を子どもたちが受け継いでいってほしいと地域のみならずも願っています。

県立盲学校との交流

県立盲学校との交流学習が3年目を迎えます。歓迎遠足や運動会などの学校行事を通しての交流や、月1回の授業での交流学习を行っています。昨年度は、子

アイマスクを着用し、目が見えない状況を体感するなど、交流学习を行っています。



豊かな体験活動 「学校応援団」

PTAのご協力で、学校田の田植えを行っています。収穫祭では、刈り取ったもち米で餅つきが行われます。子どもたちは、杵をついた後、餅を丸め、地域のお年寄りのご家庭に届けたりもします。

また、3年生以下の子どもたちには、「放課後子ども教室」があります。地域のボラ

ンティアの方々のご協力で、茶道や手話などいろいろな体験を楽しんでいます。中でも、子どもたちが一番楽しみにしているのは、老人会の皆さんとのグラウンドゴルフです。さらに、老人会のみならずとは、芋の苗植えや花壇整備なども一緒に行っています。運動会も地域の消防団の方々の参加もある地域あげての運動会です。これからも地域の人々に大切にされる学校づくりを進めていきます。



地域の人たちとの餅つきのようす



「自然とともに遊び生活した子どもの頃の体験は宝物だ。心身を強くし、感性を豊かにする。阿蘇の大自然を守るためにも次代を担う若い人や子どもたちにもぜひ伝えたい！」と願い、あべさんが描かれた作品をお届けします。

初夏の恵み



田んぼの田がぐんぐん伸びてきて田の草取りが始まる頃子どもたちの仕事は田んぼに入っのたにし取りや小川でのシジミ取りやどじょう捕りだった。それらが、実はなんと、滋養強壮に役立つ食べ物ばかりだったなんて♪
午間はかかるけど私たちはすのこいものも食べていたんだく!!

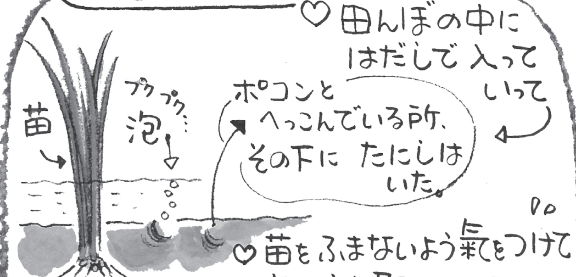
シジミ ☆小川の浅瀬にはシジミがいっぱいた。

♪学校の帰り道にシジミを取ってスカートに入れて帰ったこともあったけ...



シジミは肝臓を強くします

たにし



①家できれいな水につけておいてしばらくの間、泥を吐かせる。

②水に塩を入れてゆがく。

③竹串やまち針をつきさして回しながら身を引き出す

④さらに水でしっかり洗ってから甘辛く煮たり酢みそで食べたいした。

たにしもどじょうもビタミンB、鉄、亜鉛、カルシウム、共に豊富です。

どじょうは♡串に刺して串焼きにしたりどじょう鍋にしたり♡

どじょう

☆どじょうは田んぼの用水路の泥の中にもぐっていたので足で追い出しながらすくい捕った→



♡泥を吐かせるためにきれいな水の中に入れてしばらく置く♡

♪水面に顔を出したり尻をびはねたり♡さわるとヌルッしたり♡どじょうは実におもしろかった♡

☆夏バテ予防のスタミナ料理に♡

たにしはコリコリして団かつたけどうまかつた♡

